



# ビハーラ山陰

第7号【令和2年10月1日】

発行元  
事務局

浄土真宗本願寺派 山陰教区教務所

〒690-0002 島根県松江市大正町443-1 本願寺山陰教堂内  
TEL 0852-21-4747 / FAX 0852-27-8351

このたびの7月豪雨災害、台風9号・10号で被災された皆さま、  
新型コロナウイルスで大変な状況にある皆さまに、こころからお見舞い申しあげます。



山陰教区教務所  
所長 佐々木 了慎

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、感染者もお亡くなりになる方々も増え続け、社会経済状況は先行き不透明で、閉塞感が漂う未曾有の事態が生じております。被害を受けられた方々に謹んでお悔やみ・お見舞い申しあげますとともに、現場の最前線で懸命に対応されている皆様に、深く敬意と感謝を表します。

さて、本宗門の「ビハーラ活動の理念」の中に、次のような一節があります。「死の前に、患者と家族が死についてどう考え、人への愛情、自らの人生の意味をどう考えているかを傾聴し、無常を超えて眞実のつながりを育み、深い安らぎを得ることを『ビハーラ活動』の願いとします。また人は愛するものとの別離を通して、多くのことに気づきます。その意味で、死別後、残された人々がもつ悲しみに共感し、亡き人の思い出を新しい人生の道しるべとして、ともに学んでいくところにもその願いがあります。」

私事ですが、昨年9月に父が亡くなりました。2年間に亘る闘病生活の末、最期の数日間は緩和ケア病棟に入院しました。父は亡くなる直前に、

思うように動かせなくなった手で、いくつかの短い言葉を書き残していました。

まずは病院のスタッフやお世話になっている方々への感謝の言葉。次にどこに痛みがあるのか伝える言葉。そして最後に「大きな船に乗っている」という言葉でした。

親鸞聖人は『高僧和讃』の中で、「生死の苦海ほとりなし ひさしくしづめるわれらをば 弥陀弘誓のふねのみぞ のせてかならずわたしける」とお示しであります。お念佛のみ教えに出遇えた父は、ご本願の船に乗せていただいている安心感に包まれながら、感謝の中で亡くなりました。父の最期の言葉から、阿弥陀如来の救いのみ教えの中で生かされている尊さ、有り難さ、そして念佛者としていかに人の苦悩に寄り添い、手を取り合って考え、助け合って生きていくのか、改めて教えられたことあります。

山陰教区には、110名を超えるビハーラ山陰の会員がおられます。日頃の積極的な学びと実践に心から敬意を表しますとともに、「ビハーラ活動の理念」に謳われる「み仏に願われ護られたいのちの尊さに気づき、孤立した人々の心と心をつなぐ活動」の更なる充実発展に向け、ともに歩みを進めるべく、何卒よろしくお願ひ申しあげます。



ともに生きるビハーラ活動

ビハーラ山陰  
会長 三谷 卓良

「もったいない」から「ありがとう」へ。フードバンク（食品銀行）にご協力をいただけませんか。

フードバンクは、寺院のお供えや家庭で食べきれない食品、食べられるのにさまざまな理由で廃棄される食品を、食べ物に困っている人や施設、子ども食堂、新型コロナ禍で生活の苦しい方々等に届ける活動です。

今年7月に開催された山陰教区「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）総会で、今年度から4年間の実践目標「貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～」（前2か年度と同じ）が承認されました。

その席上、佐々木了慎委員長（教務所長）から、実践目標「貧困の克服に向けて」をより具体的に実践していく運動として、フードドライブ（フード・食品、ドライブ・運動で食べ物を集める運動：寺院や家庭で余っている食品を研修会や大会、総会、イベント会場等に持ち寄り、それらをまとめて届ける活動です）で食品を集め、必要とされる人や施設等へ届ける活動の提案がありました。

その後、私の所属する教区同朋社会部会を開催して、佐々木了慎委員長（教務所長）の提案を協議検討し、部会として取り組むこととしました。

今年度は、コロナウイルス感染症拡大の状況にありますが、コロナ収束後の山陰教区の研修会や大会、総会等で、このフードドライブを実施させていただきたいと、準備を進めています。

フードドライブで集まった食品は、例えば、教務所や松江市で開催した研修会や総会等の場合は、松江市社会福祉協議会へ届ける協議を進めています。他市町村で開催した場合は、開催した市町村の社会福祉協議会へ届けたいと考えています。

## 貧困克服に向けて 「フードバンク」にご協力を

この活動は、山陰教区の取り組みだけでなく、皆さんのお住いの市町村社会福祉協議会で、フードバンク事業が行われています。個々の寺院や数か寺協働で、または組で、門信徒の協力を得て、この事業に取り組んでいただきたいと思います。

届けていただきたい食品は、次のものがあります。市町村社協により違いがありますので、確認をお願いいたします。

### 届けていただきたい食品

- お米 • レトルト食品 • インスタント食品
- 保存食品（缶詰・瓶詰等）
- 乾麺（うどん・そば・そうめん・ラーメン・冷麦・パスタ等）
- 乾物（のり・わかめ・こんぶ等）
- 粉末食品（お茶漬けの素・スープ・みそ汁・ふりかけ等）
- 調味料（麺つゆ・砂糖・塩・醤油・味噌・酢・食用油等）
- ギフトパック（贈答食品の余り等）
- 菓子など

### 注意いただきたい事項

- 賞味期限が明記されており、1ヶ月から3ヶ月以上あるもの
- 未開封で中身が出てないもの
- 常温保存が可能なもの



フードバンク活動は、いま目の前にある「貧困」や「食品ロス」の解決に取り組むだけでなく、一人でも多くの人たちが、健康で生き活きとした生活を、支援する活動もあります。

ビハーラ活動は、人びとの悲しみ、苦しみ、辛さ、苦難、苦惱に寄り添いたいとの願いをもって行う、真宗念佛者の社会実践活動だからこそ、フードバンク活動にビハーラ山陰として、協力させていただきたいと思います。皆さんのご支援ご協力を、何卒よろしくお願いいたします。南无。

## 「ビハーラ浜田」結成21年目を迎えて

浜田組 真行寺 渡邊 哲彦

浜田組の同朋社会部の一部会として、平成12年9月僧侶・門徒100名の会員で発足しました。最初は特別養護老人ホーム1か所だけの訪問でした。現在は、特別養護老人ホーム・2、養護老人ホーム・1、老人保健施設・1、高齢者生活支援施設・1、通所デイサービス施設・1、整形外科医院・1の施設を毎月訪問しています。

当初は、会員の意見の食い違い、施設職員との摩擦などで閉会の危機に陥り一時活動を休止しました。1年半後、役員の入れ替え、施設職員との調整などを行い、再開しました。

### ◇施設訪問

毎月1回、定例曜日、午後2時から1時間前後

僧侶は、1施設は旧浜田組の住職の輪番制。1施設は2か寺の住職と私の交代制、その他は私が担当しています。

会員は、1施設だけの人、2~5施設を訪問する人など延べ35名が参加しています。

訪問の開会は真宗宗歌、閉会は恩徳讃の定型

僧侶による、浄土真宗の生活信条・お勤め(讃仏偈)・領解文・仏教讃歌・法話は、施設により、認知度・理解度によって異なります。

会員による、腹話術・唱歌・手話・尺八演奏・山野草紹介等特技のご披露は好評です。

毎月訪問すると、デイルームで待っておられ、お別れは手を振って見送っていただき、「来月も来なくちゃあ」といつも思いを新たにします。

### ◇会の運営

年会費、1,500円。総会・研修会・公開講座・

ビハーラ山陰の行事参加など行っています。好評なのが、12月1日の一日研修会です。朝はバスで浜田を出発、他組寺院訪問(ご住職の法話)。昼食・懇親会は「いこいの村しまね」、高原のお風呂でゆったりと手足を伸ばし、夕方帰宅。昨年は24名が参加。

(現在会員72名。僧侶 10名・門徒62名)

### ◇終わりに

伽藍で参拝者を待っていても、ガランとして参拝者が少なくなっているのが現状であります。高齢のためお寺にお参りができなくなった方に、お念仏をお届けする。お寺にお参りしたことのない方に、お念仏のご縁を結ぶ。ビハーラ活動は、施設にお念仏と社会の風をお届けする。待っているのではなく、風を起こすことだと感じています。

(記事の内容は3月に寄稿いただいたものです)

## 第17回ビハーラ活動 全国集会のぞ案内

**期 日** 2021(令和3)年  
1月30日(土)・31日(日)

**会 場** 御影堂・聞法会館・伝道本部・  
リーガロイヤルホテル京都(懇親会)

**募集人数** 400名

※新型コロナウイルス感染症の影響により  
中止となる場合がございます。

## ビハーラ山陰公開講座 ご案内(予定)

**期 日** 2021(令和3)年3月

**会 場** 出雲市民会館

※ご講師は、現在調整中です。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響  
により中止となる場合がございます。

## ビハーラ総会・研修会 中止について(報告)

2020(令和2)年度の総会・研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会員の皆さまの安全を第一に考え中止といたしました。議案については来年度の総会において改めてお諮りする予定にしております。



## 新役員の紹介コーナー

### 大田西組 法久寺 特留宣裕

ビハーラの根幹は、「傾聴」にあると思います。自分の思いや考えを他人に押し付けないで、人には中々言えない苦悩を抱え辛い思いをしておられる方に寄り添い、親身になって聞き、共に寄り添い、歩んでいくことが真の念仏者の生き方ではなかろうかなと思います。

### 浜田組 光西寺 廣崎勝美

2011(平成23)年ビハーラ山陰再発足時に入会させていただき、以後目的達成のため数々の事業に参加させていただきました。私の所属しておりますビハーラ浜田は順調に推移しておりますが、今年度に入り新型コロナの影響で全ての訪問活動が中止となり、苦慮しており一日も早い終息を望んでおります。今後もビハーラ活動の5つの方向性に基づいて、活動を続けていきたいと思います。

### 聞く力の大切さ

#### 鳥取因幡組 淨宗寺 片上優子

人が2人いれば、私にも「聞いてもらいたい」と思うものがあるように、相手も必ず「聞いてほしい」と思っているはずです。しかし、自分の思いがうまく伝えられるかだけでなく、相手の話を黙って聞いてあげることやその話を受け止めてあげることがどれほど難しいことか。この力は日々の積み重ねの中で作られていくものでしょうが、時間を重ねればいいというものではなく、「自分自身の意識」と「わかってくれる人達の存在」が必要不可欠なのだと思います。本当に周りの人達の『お育て』があつてのことなのですね。

### 神門組 真宗寺 堀西雅亮

堀西と申します。感染症にかかった人の居場所を奪う、自分の考えに合わない人を「間違い」だとする、自分の宗教だけを大切にする、そのタネは何か。自分の中に探していくほかはないですね。よろしくお願ひします。

### 出雲南組 善徳寺 楠智加子

ビハーラ活動の大切さを知りながらも、実際には何もできていない私は。活動を通してしっかりと学び、ビハーラのやさしさの輪を広げていくお手伝いができると思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

### 邑智東組 高善寺 武田正文

最近、YouTubeで活動を始めました。「死別の悲しみ」「自らの生老病死」など、ビハーラに直結するテーマの人気が高いです。不安定な時代に差し掛かる今こそビハーラが大切になってくると思っています。

### 益田組 専光寺 栄昌宏樹

本堂でのお勤めの帰り丁寧にトイレの前で合掌をする父は、数年前病気で目が不自由になりました。お内仏と間違えているのですがその姿に頭が下がります。寄り添う気持ちを大切に活動に取り組んでいきたいと思います。

## ■ビハーラ山陰役員名簿

任期:2020年4月1日~2022年3月31日

役職	組名	寺院名	氏名
会長	江津	西教寺	三谷卓良
副会長	大田西	法久寺	特留宣裕
//	浜田	光西寺	廣崎勝美
理事	鳥取因幡	淨宗寺	片上優子
//	神門	眞宗寺	堀西雅亮
//	出雲南	善徳寺	楠智加子
//	邑智東	高善寺	武田正文
//	益田	専光寺	栄昌宏樹
監事	出雲	宗玄寺	上田覚
//	飯南	福蔵坊	高橋浩文
顧問	浜田	真行寺	渡邊哲彦
//	出雲	宗玄寺	藤森觀海
//	(教務所長)	佐々木了慎	
事務局	(教務所)	黒河敬生	

## 編集後記

3月に入り新型コロナウイルスの影響によって行事が中止となる中、機関誌の発行も危ぶまれましたが、役員の皆様のご尽力により、ここにビハーラ山陰第7号をお届けすることができました。謹んでお礼申しあげます。いま、世の中は、働き方や生活様式が大きく変わりつつあります。また、人権意識の軽視や経済の落ち込みによる生活への影響が社会問題化しています。人々の苦悩に寄り添うことがビハーラ活動であるならば、このような不安定な時代だからこそ、仏教徒としてどう向き合うべきか、その姿勢が問われているような気がします。（事務局）